

様式 7-1

平成17年度開始 交付金プロジェクト研究課題 事前評価結果

プロジェクト名：東南アジア地域の森林推移に関する空間プロセスの解明

主査氏名（所属）： 沢田治雄（研究管理官）

参画機関等 森林総合研究所

1. プロジェクトの目的

森林減少・劣化状況については、FAOによる各国統計の集計や特定地域のための衛星画像解析で把握されてきたが、生態系サービスの具体的な検討に欠かせない東南アジア熱帯林の全体的な現状の把握が遅れている。また、今後の森林の取り扱いに必要な、森林の推移に関する情報すなわち、さまざまな要因によって行われてきた森林破壊進行の全体像の把握が十分ではない。

本研究は、20年程前からの森林の推移状況を大スケールで的確にマッピングする技術を開発し、国際林業研究センター（CIFOR）における「環境サービスと持続的森林利用プログラム」等の国際的な情報ニーズに貢献すること、また、開発した技術を利用して、変化の見られる東南アジアの森林地帯における推移状況を把握して、その変動を表現する空間プロセスとその変動要因を解明することを目的とする。

2. プロジェクト研究成果の概要

なし（事前評価）

3. 主な発表業績（論文、特許等）

なし

4. 評価委員の氏名・所属

奥田敏統（独立行政法人・国立環境研究所）

5. 評価結果の概要

目標設定は妥当であるが、空間解析のアウトプットをさらに分析して成果とするべきであろう。研究計画の達成可能性は高いが、研究対象地に関してはさらに検討を行う方がよい。

6. 評価結果を踏まえた改善措置概要

森林地帯の推移状況の空間プロセスを解析するが、その際に得られるファクターと社会経済的要因との関係などを分析し、変化の要因解明を進める。また、本研究課題に於いて例示されている研究対象地は、CIFORをはじめ、東南アジアにおける共同研究機関との調整や研究レビューをさらに行うことで確定し、効果的な対象地に絞って研究を行うこととする。